

令和7年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第2回議事録（要旨）

日 時：5月30日（金）午後6時30分～9時

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 14 名（中里委員長、横山副委員長、大上委員、山崎委員、牛田委員、木岡委員、田村委員、北山委員、猿渡委員、谷口委員、島津委員、大野委員、林委員、根本委員）

傍聴者：1 名

事務局：3 名

1 開会

- ・今回から参加する委員の紹介

2 議題

（1）憲法月間記念行事について【資料1】

- ・事務局より、憲法月間記念行事について説明。

【委 員】講師の方の話の中で、直接訴えるのではなく、エンタメを通して、間接的に、メインターゲットではないエンタメに興味ある人に知ってもらうとか、関心がない人にどのように訴えるかという話があり、今回それが表れていたのがすごく良かったと思う。

【委 員】しょうがないのかなと思うが、事業の名前が結構読みづらく、それが市民の方に伝わっていただけないなと思った。それ以外は本当に勉強になる会であった。

【委 員】アンケートの「憲法月間に関するイベントとして、今後どのようなものを希望しますか」の中身を見ていると憲法月間行事ではなく、平和事業で実施してほしいことが書かれているパターンも結構あり、この辺りがいいことなのか悪いことなのかはちょっと置いて、その辺り混同されてしまうのがどうなのかがちょっと気になったところである。どちらも大事なイベントであるが、やはり憲法月間行事としてももう少し周知してもらう必要があるのかなと感じた。委員会の名称のほうにひかれてしまったのかなと感じた。

【事務局】これまで憲法月間記念行事では、憲法9条に触れるような機会が多く、議会からも、憲法には9条以外にも大事な事がたくさんあるので、そういうところにも目を向けてもらうようなテーマを取り上げた方がいいのではという意見があった。去年はインターネットやAIと憲法のような話をとり上げた。今回、憲法について学術的に深堀ができたかという、そういう事業ではないと思うが、吉田恵理香さんとか「虎に翼」が好きだから事業に参加いただき、平和、憲法や人権について考えるような雰囲気はすごくあって、事務局としては今回すごくいい展開ができたのかなと思っている。

【委 員】事務局と同じ気持ちで、憲法はやはり難しくてなかなかとっつきにくいことで、多分憲法を深堀しようとする人が本当少ないと思う。そのため憲法とは身近

な物だよというような今回のテーマはすごく良かったと思っている。憲法9条で大事だと思うが、例えば「火垂るの墓」のにしても、平和ではあるけれども憲法とはまた関係ないという部分とか、やはりそういう委員会の名称にちょっとひかれてしまったのかなと感じた。

【委員】憲法とは離れた意見が結構多いというのは、特に問題とは思ってなくて、そういう要望が市場にはあるということがこれで分かったから、よかったと思う。そもそも何かこのイベント企画立てるにあたって、理念だとか目的のような強いものが確か見たことがない。7の2の年代の話ですが、相変わらず高齢のほうが多いのは続いている。数年前よりはややフラットになってきているように見えるが、これはどう考えているか。

【事務局】経年変化を追っているわけではないが、今回は体感的には若い人が多かったということと、女性がすごく多かったと感じた。それは吉田恵理香さん見たかったというところなのかなと思っている。家族で「虎に翼」を見ていて関心があったとか、憲法に関心があったのかという事で来た高校生もいたので、今回いい意味で今までの参加者の年齢層とは違ったと感じている。

【委員】事務局がおっしゃったことを私も同じように思った。私も結構長くこの委員をやっているが、いつも参加者の年齢層が固定的で、割と高齢者の皆様や憲法擁護の主張を持っている年代の方が多いと思っており、今回の講師にお願いしたことは良かったと思う。虎に翼を見て、そして吉田さんの持っている女性、作家として、色々と苦労しながら、その憲法の問題を分かりやすく話されたという点が良かったと思う。憲法月間記念行事の理念というのは基本的人権、平和主義や国民主権など小学校や中学校で習うようなものの意味とか重みを考えていくだけでなく、新しい人権という展開もあると思う。そういう意味でも、いい講演で画期的だったと思う。客層としても若い人が増えたことも良かったと思う。

(2) 夏季平和事業について【資料2-1、資料2-2】

・事務局より、夏季平和事業について説明。

【委員】委員会の推薦本リスト作成や、戦争関連資料の展示については学校に直接展示するなどにはできないか。

【事務局】現状も図書館に戦争に関する本のコーナーを作ってもらって、そこで紹介をして借りてもらうという企画は実施している。学校での展示については、夏休み期間だと難しいと思うが、この先の課題とは思っている。今年度もイベント実施の際には図書館に戦争関連資料の展示コーナーは作ってもらいたいと思っている。

【委員】もし推薦本リストを作るのであれば、子供向けも作って、小学校に配っていただけるとより良いかなと思った。また、学校に色々配るならば、夏休みではなく、11月の平和の日合わせてほうが、子供達も見やすいと思う。

【事務局】学校に配る場合、司書の先生などの確認が必要になってくると思う。何がどのくらいできるのかは今後確認させていただきたい。

【委員】イベント案について、推薦作品の投影や朗読などもよいと思った。また、海外でも話題になっている映画を上映するのもよいと思う。また、戦争の話であ

る作品を題材とするイベントもよいのではないか。

【委員】 イベント案として、3本映画を推薦させていただいた。料金等はわかるか。

【事務局】 料金については、お調べした。

また、推薦作品のなかで取り扱いのない作品もあった。

【委員】 私の推薦した映画作品は個人的に予算の関係で難しいと感じている。別の推薦作品のアニメ上映もよいと思った。また、昨年度上映した「ラーゲリより愛を込めて」は多くの応募があり、参加できなかった方もいると思うので、再上映もよいのではないか。

【委員】 私が推薦させていただいた絵本の作品について、文字数も少なく、子供の読める文字で書かれているので、子供の声で朗読するにも適した本と思う。その作品のイラストの対比は大人にも訴えるものがあるので、子供向け、大人向け両方のイベントにも使えると思い、推薦させていただいた。また、制作された方にお話を伺う講演会形式にするのもよいのではないか。

【委員】 私は、個人的に戦争に参加した動物の写真展を開催した時に、子供たちも来たが、大人も結構いらっしゃっていて、理由聞くとペットと一緒に暮らされている方もいらっしゃるので、自分ごととしやすいという部分もあった。動物をテーマとするのもよいのではないか。

【事務局】 前回の委員会で、ご意見のあったとおり、2日間開催としてよろしいか。

【委員】 従来、大人向けと子供向けみたいな形で住み分けしていたところがある。でも、今企画によっては別に子供と大人関係ないので、それであれば別にその2日に分けることもないとも言える。しかし戦後80年という節目でもあるから、やっぱり2日設定して1つは、映画と子供向けのイベントというのがまとめやすいのではと思う。

【事務局】 2つイベントを実施すると言うことで進めさせていただいてよろしいか。また、委員からの投票で取り上げたいものを絞らせていただく形でよろしいか。
⇒異議なし

委員の皆様からの投票で優先交渉順位を決定

(3) 平和の日イベントについて【資料3】

・事務局より、平和の日イベントについて説明。

【委員】 戦後80年という節目の年でもあるので、実際の体験を直接聞くことが難しくなっていくという現実があると思うので、ネームバリューのある人を呼ぶよりも、けやき会さんとか、中里委員や島津委員のお話を聞くというような形が取れないかと思う。それだけで1時間を構成するのはなかなか難しいと思うが、そういうことを念頭において考えたい。

【委員】 戦争体験者の話を可能であれば小学校に行って小学生達に聞かせてもらえたらと思う。今の小学校ではあまりされていないように感じるので、可能であれば12校に誰か行って話をしてもらえたらと考えている。

【委員長】 この前、千川小学校の生徒に話をした。また、1小、5小、4中などにも話に行ったこともある。個人的には親子で来てもらえるのが1番良いと思っている。

- 【委員】私もこの前、井之頭小学校の生徒 100 人に話をしてきた。中学校や高校でも話をしたこともある。小学校では私の子供の頃の話、高校生には受験時の差別体験などの話をした。30 件ほど行っている。今後も PTA や校長会などにも呼びかけて広めていこうと思っている。
- 【委員】小学校 6 年生の時に原子爆弾に関する講演を受けた記憶がある。お話されていた方は、被爆体験をされた方又はそれを伝えている方だったと思う。
- 【委員】しょうけい館でかたりべをやっている。語り部の原稿は、厚生労働省の検閲を受けており、中立な原稿となっている。現在かたりべは合計 60 人ぐらいおり、全小中学校にお願いすることは、団体を通して可能だと思う。
- 【副委員長】今回の委員会で何か決めないといけないということはないということではいいか。いつまでに決める必要があるか。
- 【事務局】可能な限り、次回の委員会で決定したい。
- 【副委員長】例えば青少年派遣交流事業の長崎の方を呼んで、パネルディスカッションのようなものは可能か。
- 【事務局】長崎にも確認が必要であるが、呼ぶとなると旅費等が必要となるので、難しいのではないかと考えている。
- 【委員】イベントに対して、どこかにターゲットを持って来るか年齢層などがあると私的にはスッキリして選びやすい。
- 【委員】小学生向けのリーフレットを作るという話はどのようなになっているか。配るなら 11 月が目安となると思うがいかがか。
- 【事務局】リーフレットについては、学校を含めて配る形になると思うので、基本的に市のほうで案を作って、皆様にも確認をしていただき、最後は学校にも確認してもらわないといけないと思っている。作り方として、今回、大学生の委員さんたちに入っていたので、お手伝いをいただければと考えている。
- 【委員】5 年ぐらい前から白黒写真をカラー化して記憶の解凍という名を付けて、広島、長崎の写真を白黒からカラーにして、日常生活があったことを明らかにした非常に面白い取り組みがある。若い人が関心を持つきっかけとして、注目している。
- 【副委員長】ターゲットとしては、どのイベントやった時も結果の集計の後に年齢層高い結果となりもっと若い人を取り込んでいきたいというのは何年も変わらず意見が出続けているところだと思う。なので、若い層に対して訴求力のある切り口ってなんだろうっていうのは視点としては非常に必要なことなんじゃないかなという風には思う。
- 【委員】平和の事業となってしまうと結構堅苦しくて、行こうという気になるかと言われるとそれが難しくて、エンターテイメント寄りというか、内容がポップだったり、平和というのが全面に押し出されてない方が行ってみようとなると思う。
- 【委員】私たち若者は戦争を全く経験してないので、戦争とはなんだろうとか、どのくらい恐ろしいのかというのも全然知れてないと思う。若者に知れているアニメとか、国際問題とかも絡めて、イベントに繋げていくのも良いと思う。
- 【事務局】期日までにイベントの案をいただき、次回の委員会で協議するという形でいいかがか。

⇒異議なし（提出締切は 6 月 13 日まで）

（４）研修会について【資料４】

・事務局より、研修会について説明。

【副委員長】まず時期から考えていきたいと思う。長年 2、3 月頃にやっていて定着していったものの、去年は 10 月であった。8 月は平和事業があるので避け、9 月は議会で事務局が忙しい。8、9、11 月は時期の候補からは外れてくるかと思うがいかがか。

【事務局】前回の委員会で研修が仲良くなれる機会なので、早めにした方が良いというご意見があったので、7 月ぐらいからで考えていただければと思う。研修会の候補の丸木美術館ですが、今年の 9 月 28 日から全面改修で 2 年間閉館予定となっている。

【委員】10 月中旬ぐらいまで夏休みで実習があるので、10 月中旬以降の方がありがたい。

【委員】場所として、東京大空襲・戦災資料センターと第五福竜丸展示館や昭和館と靖国神社の遊就館は近いので 1 日に 2 か所行けるのではないか。

【事務局】今回の候補は都内が多いので、2 か所回る等は可能かと思う。

【副委員長】時期は 10 月中旬以降で、遅くて 2、3 月ごろでよいか。

また、個人的にいつてみたい場所があれば教えていただきたい。

【委員】丸木美術館に行ってみたかったが、時期的に難しいと思っている。

【副委員長】8 月は事務局としては難しいか。

【事務局】8 月は事業が重なっており難しいが、9 月の土日であれば、実施できる可能性はある。

【委員】個人的としては、委員の交流を深めるために、早い時期に都内の東京大空襲・戦災資料センターと第五福竜丸展示館や昭和館と靖国神社の遊就館のどこかに行きたい。

【副委員長】9 月の土日で実施する方向でいかがか。⇒異議なし
場所は、次回の委員会でもよいか。

【事務局】場所について、次回の委員会での決定で問題ない。

（４）その他

・次回の委員会は、7 月 1 日（火）午後 6 時 30 分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

・委員からの平和の日イベント（案）については、6 月 13 日（金）を提出期限とする。

3 閉会